

京都市会だより

第31号

平成16年(2004年)
11月15日発行

●発行/京都市会
●編集/市会事務局
●〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上
●TEL.075(222)3697
●FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



山科疏水

病院・水道・下水道・市バス・地下鉄

公営企業決算を認定

公営企業の健全な経営に向け活発な議論

9月市会定例会

9月定例会は、9月9日から10月8日までの30日間開かれ、市長提出議案58件、議員提出議案12件を審議しました。市長提出議案のうち、病院事業など公営企業会計等の15年度決算6件については、公営企業等決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、すべて認定しました。平成16年度一般会計補正予算1件と関連議案2件についても、普通予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。

また、里道管理条例の制定など議案47件については、それぞれの担当の常任委員会が審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。更に、人権擁護委員の推薦の議案2件についても、諮問のとおり可と認めました。

そのほか、小川裕樹議員の辞職の許可や山科区選挙管理委員及び補充員の選挙などを行い、民間保育所運営費国庫負担金・補助金制度の継続及び総合施設の在り方についての意見書など議員提出議案11件を原案のとおり可決しました。

なお、9月9日の本会議の冒頭、7月19日に逝去された天方晶英議員に対する追悼演説が行われました。

今回審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

◆京都市及び北桑田郡京北町の廃置分合

◆京都市及び北桑田郡京北町の廃置分合に伴う財産処分に関する協議

平成17年4月1日から京北町の区域を京都市に

編入するため、地方自治法の規定により、府知事に申請するとともに、京北町の財産をすべて京都市に帰属させるため、京北町と協議を行うおとすものです。

◆公営企業会計決算概要

◆病院事業

延べ入院患者数の減少による入院収益の減少などにより、総収益は143億8千万円(対前年度比0.5%の減)となりましたが、人件費等の削減により、総費用は143億2千2百万円となり、5千8百万円の黒字となりました。

◆水道事業

総収益は水需要の減少等により325億2千万円(対前年度比40%の減)となり、総費用は人件費や企業債利息等の減少により、317億2千6百万円と減少しました。この結果、7億9千4百万円の黒字となり、累積黒字は、47億9千万円となりました。

◆公共下水道事業

総収益は下水道使用料収入や一般会計からの繰入金金の減少等により、543億1千4百万円(対前年度比31%の減)となりましたが、企業債利息等の減少により総費用も542億6千6百万円と減少し、結果4千8百万円の黒字となりました。また、累積赤

字は、53億8千万円となりました。

◆自動車運送(バス)事業

旅客数は前年度を上回りましたが、旅客一人当たり単価の減少による運送収益の減少等により、総収益は216億2百万円(対前年度比10%の減)となり、総費用は人件費の削減等により204億8百万円となりました。この結果、11億9千4百万円の黒字となり、累積赤字は150億9千2百万円となりました。

◆高速鉄道(地下鉄)事業

運輸収益の増加や国の補助金制度の改正等により、総収益は232億1千百万円(対前年度比129%の増)となり、減価償却費や人件費等の減少により、総費用は421億9百万円に減少しました。この結果、188億9千8百万円の赤字となり、累積赤字は2千191億9千9百万円となりました。

■定例会の経過

9月9日	本会議	会期の決定、市長の提案説明など
9月13日 14日	本会議	議案の処理、代表質問、公営企業等決算特別委員会の設置など
9月13日 15日 ~29日	公営企業等特別 会 決算委員	正副委員長の互選、各公営企業会計等の決算の審査など
10月7日		
9月13日 30日 10月7日	普通予算 特別委員	正副委員長の互選、一般会計補正予算等の審査など
10月1日 4日 7日	常 委員 任 会	付託された議案や請願の審査など
10月8日	本会議	決算や議案、請願、意見書の議決など